

第1回大府市男女共同参画審議会会議録

日 時	令和8年8月21日（金） 午後3時から午後4時まで
場 所	委員会室I
出席者	委員：笠松千尋、山本芳、富田 康雄、小川 友世、磯部 法子、近藤 亜美 助言者：岸智子 事務局：健康未来部長、女性活躍推進室長、女性活躍推進室主査
欠席者	中庄とみえ、新井 昭
傍聴人	1名

（敬称略）

1 あいさつ（委員長）

今年度も活発に意見交換を行いたい旨のあいさつがあった。

2 自己紹介

各委員、助言者及び事務局が順に自己紹介

3 議題

（1）おおぶ男女共同参画プランⅥ令和7年度実績・令和8年度計画について

以下の資料に基づき、事務局から説明。

【資料Ⅰ】「おおぶ男女共同参画プランⅥ さんかく!おおぶ」

令和7年度実績・令和8年度計画

<発言要旨>

（助言者意見）

市内事業所へのアンケート・ヒアリング調査を通して、どのような課題が分かったのか。

（事務局説明）

市の特徴として、製造業かつ小規模事業者が多く、女性の就業継続や女性リーダーの育成が課題として見えてきた。

（委員意見）

父親と一緒に参加するイベントについて、参加者からどのような反応があったか。

（事務局説明）

父親同士の交流ができたことや、子どもとの遊び方について新たな発見があったとの意見があった。

（委員意見）

働く親を支援する企業の取組について、アンケート等から分かったことはあるか。

（事務局説明）

短時間勤務など柔軟な働き方の整備が重要との意見があった。また、出産後も正社員として継続就業している女性が少ない、またはいない企業が約 2 割あり、女性の就業継続が課題であることが分かった。

(委員意見)

「働きやすい企業表彰」の表彰基準は何か。

(事務局説明)

本市独自の表彰制度であり、ファミリー・フレンドリー部門、健康経営部門、ダイバーシティ部門などの部門を設け、企業を表彰している。令和7年度は3社を表彰した。

(委員意見)

あいち女性輝きカンパニーの認証が進まない企業には、どのような課題があるのか。

(事務局説明)

小規模事業者では女性従業員や女性管理職が少ないことなどが課題となっている。企業の状況に応じて、申請可能な項目を一緒に確認するなど、申請に向けた支援を行っている。

(委員意見)

プレリーダー研修はどのように募集するのか。また、本人からの応募と企業からの推薦のどちらを想定しているのか。

(事務局説明)

広報おおひ、市公式ウェブサイト、商工会議所会報等を通じて募集する。本人からの応募に加え、企業からの推薦による参加も想定している。

(2) 審議会等委員の女性登用率について

以下の資料に基づき、事務局から説明。

【資料2】審議会等（法令・条例設置）委員の女性登用率（令和8年4月1日付）

<発言要旨>

(委員意見)

女性登用率50%という数値だけを目標とするのではなく、専門性や多様な意見を反映できる会議とすることが重要である。将来的には、男女比を意識しなくても自然に男女が参画できる状況を目指してほしい。

(事務局説明)

今回の意見を今後の取組の参考とする。

4 その他

本日の審議会の感想

(委員感想)

今後5年間についても、これまでと同様の発展を期待している。世代ごとの施策だけでなく、世代を超えたネットワークや情報共有の機会を設けることが重要ではないか。今後整備される文化・健康関連の施設など、多世代が集まる場において、様々な施策を展開し、世代間の交流につなげていくことを期待する。

(委員感想)

男女共同参画を阻む要因がどこにあるのかを見極め、特に企業経営者等の意識改革も含めて、重点的に取り組むことが必要ではないか。

(委員感想)

子育て世代への支援策は充実していると感じる。行政の施策だけでなく、働く親が安心して子どもを育てられる社会づくりが重要である。また、施策を本当に必要としている人に情報が届くよう、子どもや親が集まる場所を活用した情報発信も必要ではないか。

(委員感想)

男女共同参画について、働き方だけでなく、仕事と家庭との関わり方を含め、一人ひとりが自分に合った生き方を選択できる社会を目指すことが重要である。

(委員感想)

行政が多くの取組を行っている一方、情報を積極的に取りに行かない人には届きにくいという課題がある。制度や講座等を必要な人に届けるための情報発信を工夫してほしい。

(委員感想)

女性管理職だけでなく、その前段階となる職位の女性割合にも着目していることは評価できる。また、企業における制度について、制度の有無だけでなく、実際に利用しやすい環境になっているかという実態についても把握してほしい。

(助言者まとめ)

大府市では多くの取組が行われているが、十分に知られていないことが課題である。働きやすい企業として表彰された企業の具体的な取組事例などを積極的に発信し、他の企業が取組を進める際の参考にしてはどうか。

また、今後は理念を掲げるだけでなく、企業や市民が実際にどのように取り組めばよいのか、具体的な方法を示していくことが重要である。審議会等の女性登用についても、男女比を意識しなくても自然に男女が参画できる社会を目指してほしい。

(健康未来部長あいさつ)

昨年度実施した女性活躍状況調査等により課題が明らかになり、それを踏まえて今年度、プレリーダー研修や職場環境改善セミナー等の取組を進めている。

また、取組を市民に知ってもらうため、今後も積極的な情報発信に努めるとともに、委員からの意見を今後の事業展開に生かしていきたい。

以上